



夏季会員研修会開催

気軽に学べるミニ講座としてリニューアルして3年目、今年も夏季会員研修会として、6講座を開催しました。のべ93人が参加し、学び合いの時間を持つことができました。冬季も開催予定です。希望の内容等がありましたら、三重県人教事務局までぜひリクエスト下さい。

講座① 7/26

2学期から始める生活綴り方

櫛田 誠さん(三重県人教専門委員)

参加者の声 「書く」この意味を再確認しました。インプットになりがちな授業ですが、初心に戻ると自分自身がやりたかったこと、伝えたかったことは、まさに自分の気持ちの「表現」だったように思います。「なんて書いたらいいかわからん」「うまく説明できへん」。クラスでもこの声を聞くことがあります。今一度、「表現」の指導について考え直す良い機会となりました。

講座② 7/27

家庭訪問・面談に活かすコーチングの手法

杉山 和寛さん(宇治山田高等学校)

参加者の声 「コーチング」という言葉だけは聞いたことがありましたが、その内容について今日のお話ですっきりとわかることができました。理論はよく分かりましたが、実践となると大変難しいですね。相手が自分の思い、考えだけにとらわれているなあと感じるときに活用すると有効かと思いました。

講座③ 8/1

「わかった」ことを実践へ

東川 賢一さん(磯部小学校)

参加者の声 近頃何が良くてどこへ向かうべきなのか、信念みたいなのを持っていませんでしたが、昔、ヘトヘトになりながら子どもや保護者に関わってとことんやってきた、そのことを今、大事に自分の根本として持っている事に対して、少し認めてもらえたような感じがあって、嬉しかったです。



講座④ 8/10

小・中学校のスムーズな連携をめざして

山上 英俊さん(大池中学校)

参加者の声 小中連携の大切さは分かっているけど、双方が指を向けあっている現状があるように思います。四日市市の「学びの一体化」の取組を聞いて、子どもを基盤においた小中の話し合い、具体的な実践を聴き、本当に大切なことは何かを教えていただけ良かったです。小学校の歴史のミスリード、責任を感じました。山上先生の話には、目からうろこ、教材研究を十分にせずにいたことを反省しました。真実を教える大切さ、自分を振り返る時間になりました。

講座⑤ 8/17

人権教育の視点でつくる規律ある授業

谷口 剛(三重県人教事務局)

参加者の声 ・なかなか授業規律の中身について議論する機会なく通り過ぎていきます。全職員で書き出す、話し合う、そして全クラスで学校として徹底していくというやり方、ぜひやってみたいと思いました。
・「人権」と「規律」は反するような感覚がありましたが、規律があるのは人権が守られているということがよく分かりました。

講座⑥ 8/29

授業を通じて子どもをつなぐ

中山 尚美さん(豊里中学校)

参加者の声 英語の授業を通じて、リスニングやDVDを使って、こんなふうに分かるのかと気づかされました。そして、教材づくりへの思い…とても刺激になり、自分も何か取り組んでみようという気持ちにさせて頂きました。